

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型通所支援事業所 クローバービーンズ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	3
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		～ 令和8年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心し、楽しめるような環境づくりを心掛けている	看護師が多数在籍している。 活動がマンネリ化しないようスタッフ間で話し合っている。	様々な感覚を刺激できる活動を今後も計画していく。
2	お迎え時・送迎時のお引き受け、お引渡し時に体調確認等必ず行っている。	体調面や医療的ケアに関してはすぐに看護師に情報共有を心掛けている。 また生活面でのご本人・ご家族の相談事があった際も全スタッフで情報共有を行っている。	送迎の時だけでなく、いつでも保護者が相談できることを周知し、時間を設ける。また、いつでも活動の様子が見学できることも合わせて周知する。
3	避難訓練や緊急対応のシュミレーションを行って、いる	2か月に一度の頻度で避難訓練等を活動に入れ実施している。 発電機や非常用の食品、日常生活用品の備蓄もしている。	発電機など定期的に使用できるか点検を行う。 緊急対応時の役割を利用者に合わせ常に見直し、迅速に対応出来るように準備し共有する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員配置基準は満たしているが、多機能型であるため送迎や入浴時間の際に人員が手薄になってしまうときがある。	利用者の状況に応じて、送迎や入浴の際にスタッフが複数名で対応することが必要な時がある。	必要な時間帯での人員確保をする。 必要な研修等行い、どのスタッフでも対応出来るようにする。
2	保育所等との地域の子供たちとの交流が少ない	児童館や児童養護施設にて子どもたちとの関わりがあるが、保育所等での関わりは少ない。	保育所等での交流を活動の中に入れるよう検討・調整して行く。
3	活動や医療的ケアや入浴等行うと、日によってはリハビリの時間を十分に確保できない時がある。	医療的ケアや生活支援に比べ、優先順位が低くなってしまう。	療法士以外のスタッフでも出来ること(制作時や普段過ごしている時間にリハビリの要素を取り入れる)を行う。 安楽なポジショニングを共有する。